

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第17回 講演会 口唱歌の世界

皆さんは口唱歌（くちしょうが）という言葉をご存じでしょうか。中学校音楽では2021年度の学習指導要領に登場した言葉ですが、音楽を言葉によって伝達し学ぶ方法のようです。西洋音楽主体の音楽家から見ると、なにやら邦楽の世界では割と一般的な手法かとも想像してしまいましたが、実際はどの様なものでしょうか。今回は実演や実習を含め口唱歌の秘密の一端に触れる貴重な体験が出来そうです。2月の「箏の古今」に続き日本人として必須の知識が学べる講座として、是非、多くの方々にご参集頂きたいと思っております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2025年5月18日(日) 14:30 開演(総会終了後開場)

会場：東京藝術大学音楽学部 5-109 大講義室

対象：①対面

②アーカイブ配信(会員限定)

配信期間 2025年6月29日(日) 20:00～7月28日(月) 10:00

講師：加藤 富美子 大澤 国栄 (目黒流貫井囃子保存会 会長)

日本ならびに世界の伝統的な音楽では、その習得にあたり口唱歌が大きな力を発揮するジャンルがたくさんあります。その音楽がもつ音程感、リズム感、音色のニュアンス、息遣いなど表現の諸要素ばかりでなく、表現の総体までも、ことばに置き換えて表してしまう口唱歌。当日は、『唱歌で学ぶ日本音楽』（音楽之友社）ほか既存の映像を通して擬似体験をしていただくとともに、目黒流貫井囃子保存会の実演を通じた太鼓と笛の口唱歌の体験を通して、口唱歌の世界の秘密を探っていきます。



加藤 富美子 Kato Tomiko

国立音楽大学教育音楽科卒業、東京藝術大学大学院修士課程修了、同博士後期課程単位取得退学。人文科学博士。沖縄・小浜島を中心とした民俗音楽の学習過程の研究、世界の諸民族の音楽の教材化などを主な研究テーマとし、『授業のための日本の音楽・世界の音楽』（共著）、『アクティブに楽しく学ぶ世界の音楽』（分担執筆）などを刊行している。東京学芸大学教授、東京音楽大学教授を経て、現在東京音楽大学共同研究員。



大澤 国栄 Osawa Kuniyoshi 目黒流貫井囃子保存会 会長

東京都小金井市貫井南町を拠点に活動している祭囃子。東日本および全関東祭ばやしコンクールで優勝し、東京都祭ばやしコンクールでは第1回から連続15回の最優秀賞を受賞している。学術研究の対象として注目され海外での出演やCDへの収録、高等学校および小学校の音楽教科書に掲載されるなど、幅広い分野で祭囃子の普及に貢献している。

入場料：無料

(会員以外の方は、当日以下の諸経費負担をお願いいたします)
一般 3,000 円、学生 1,000 円

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail : ni.sol.ken@gmail.com

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

会員ログイン用 QR コード



オンライン視聴は以下の会員ログインの URL
もしくは左の QR コードからお入りください。

<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

Homepage



Facebook

